

一 歩 前 へ

仁徳地域商会

竹 本 実

TEL-080-1510-8532

- ・仁徳地域商会活動への参加は、自分が常日頃より心掛けている、「心身ともに健康」と「地域への貢献」を掲げられていることに共感、私自身の目指す「無我」にも通ずると思い、参加させていただきました。(動けるのも後10年以下)

1. 自己紹介 (1949年生のもうすぐ72歳)

現在は企業(金融機関)定年後実家傍に住宅建築、従来の兵庫県宝塚の家と毎月車で400キロを夫婦で往復の生活を10年余継続中。

山口では親の健康維持を考慮、当初より放置されていた山の開墾に親子で取組、現在では山内樹木の伐採等整備を完了、道路や小屋・展望台の設置と地域内にある滝を中心にモミジ70本を植付・椎茸の栽培と共に約30種の果樹の植え付けを実施、最近では自然の中で鳥の声を聴き、イノシシやカラスと知恵比べしながらの生活。

宝塚では主に文化に触れる生活が中心(旅行・美術館・コンサート・神社仏閣等多岐)

2. 山への取組

①当初の目的

親子の体力で取り組める好きな事をして、親が健康に過ごせたら？

②取組過程(地域一帯の山は最近数十年本格的な人の立ち入りのない状況)

- ・当初は所有地の山の入り口とその周辺の雑木の伐採及び草刈りにより、筍・椎茸・柿の収穫を目的で開始。
- ・作業の進行過程で、谷川添いに滝があった記憶から谷川沿いの開墾を拡大。
- ・滝を見た後は、滝の上部を含む川沿いを尾根に向かい開墾、道もなくシダも深く、傾斜もあるため山の中を泳ぐように、人の力をたよりに作業を実施。
- ・作業により山の全容が判明した時点で、平坦部分も考慮して今後を構想。
(山道の開設・既存の檜林の間伐及び枝打ち・小屋等の拠点・各種植樹等)
- ・最初に滝沿いに資金面からモミジ10本植付、その後順次追加現在70本、構想優先順位に沿って果樹の植え付けの継続実施、小屋・焼却場・テントを設置、その間将来を考慮し麓からの道に架かる橋の拡幅2か所実施。
- ・現在まで毎年施肥や草刈り剪定花の種まき植付を実施、近隣の山よりナラ木を伐採し椎茸植菌、伐採先には椎茸や原木配布中、成果物も適宜配布中。
- ・昨年よりはイノシシ・カラス・ウサギ対策として外周略400mを金属メッシュに更新、ネット支柱もパイプ仕様に変更、自身の終活を視野での行動。

★楽しみ喜びと共に農林業が如何に大変であるかを実感、ただし行動なしにこの体験はできない、「PDCA」を回すことが大切、なかでも行動が最重要と私自身は考えています。自然の中での生活は最高で今後も健康に留意して継続的に改善取組を実施したいと思っています。

3. 地域活動について

①Uターンした故郷は地域も人も想像とは大きく異なっていました。

- ・休耕田の拡大による地域の一部荒廃、農業従事者の高齢化と減少による農業の業者委託、新旧居住者の人の分断による共同意識の崩壊。

(例) ア) 車の脱輪

イ) 文化財保護取組

ウ) 地域振興

エ) 地域自治活動（会長体験）より

自身の結論

農業時代は地域の大部分の人が農業を中心に協働と情報の共有がなされていたが、現在は利己と生活様式の変化により地域協調を要さない地域となってしまった、但し少人数地域より他人には干渉を続ける、これの修正は現在ではやや困難。

4. 企業人時代に関連して

①金融機関には組織・顧客等多種多様な組織があるが活動の大部分はテレビドラマとは異なる。 (半沢直樹)

②民間企業は目的のもと業務を遂行、基本的に組織と個人の評価が一致することより一体感を持つての業務活動となる。個人成績のみ良好のケースは原則なし。

③自身振り返って、あらゆる業種・年齢・ポジションの方々との交流が一番の財産、視野の拡大が自分なりにでき、勉強させられること多々ありました。

(各層企業オーナー・芸能人・スポーツ選手・作家 等)

5. 最後に

- ・人生観――バランスが基本 (すべてに原因を受け入れる)
- ・信条――まず行動(成功も失敗は次のプラス)・言葉、書に優先
- ・社会人――結果を計算しない(100点を満点と思い120点ができない)
- ・地域――視野を世界に向け、常に構想力をもって将来への取組を図る事

《まつたけ再生プロジェクトは、自然の中で共に一つの目的のために取り組める協同活動としてベストな案件、短期・中期目標も持って頑張りたいと思います》

いろいろと勝手な発言容赦願います、今後とも宜しくお願い致します。

以 上

アンケート回答内容

H30. 9

・平成30年7月にお願しました、「アンケート」の内容を一覧にして、報告させていただきます。
 貴重な意見ありがとうございました、常に問題意識を持って頑張ります。
 既に取組中のものもありますが、改善に向けアイデア・相談のある方は、竹本まで連絡願います。

NO	内 容 (項目内容順不同)
1	地域住民の高齢化(若い人・子供が増えてほしい)
2	防災(土砂崩れ等の危険性)
3	田・岸見小跡地の除草(グランドゴルフ終了後)
4	高齢者・一人住まいの方の確認方法として目印となる旗等の掲示

2. 豆知識—6

土井年表概略

平成30年9月作成

年代	土 井	岸 見
由来等	(佐波川の本支流狭い平地を開作・耕作、流路の変更とそれによる避難のため山麓部に居住)	(村中を佐波川の流れ左右に高岸が見えるところから地名?)
神社	福音堂は建立年月不明・もと大見寺 土井神社・創建年不明・高倉荒神から分霊大見荒神宮 明治4年土井神社へ改称、明治40年本社合併	三坂神社・創建年不明ながら738年の「周防國正統帳」に御坂神社記載あり
平安時代 西暦1186	岸見の石風呂(重源上人の創始)	土井神社(三坂神社末社)創建年不明

3.

平成30年度自治会活動報告一覧

平成31年3月10日

月	行 事	活動取組内容他	研修センター関連
4	・溝掘り作業	・山本智一さん家族3名加入 ・出雲地域づくり協議会総会参加 ・森林組合地区参与委員会参加 ・旧学校跡地坂の道路法違反解消	・岸見研修センター運営委員会
5		・地区プロジェクト要望訪問確認 ・防災無線確認実施 ・「土井自治会規約」写し配布 ・「土井自治会会員名簿」更新 ・市道緑行森永歳説明会実施	・網戸補修申請一完了 ・防犯灯維持管理交付金申請

4.

豆知識

正しい知識でより良い地域造り

NO. 5

・土井自治会区域内耕地の現状(平成30年度)

